



I 第30週の発生動向 (2022/7/25~7/31)

1. 警報・注意報は発令されていません。

II 第30週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															-1
小児科	RSウイルス感染症															0
	咽頭結膜熱															3
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎															0
	感染性胃腸炎															12
	水痘															1
	手足口病															23
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん															-7
	ヘルパンギーナ															6
眼科	流行性耳下腺炎															0
	急性出血性結膜炎															-1
基幹	流行性角結膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎															0
無菌性髄膜炎															-1	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



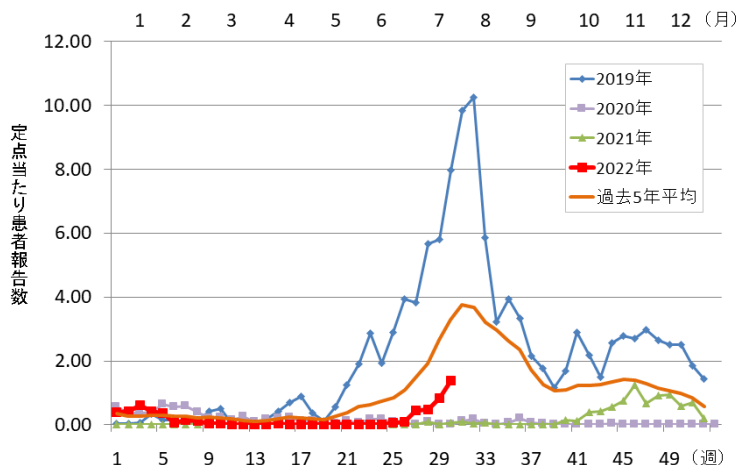
手足口病は、エンテロウイルスの感染によって、口の中や手足などに水疱性の発疹が出る急性ウイルス感染症です。子どもを中心に主に夏に流行します。

感染してから3~5日後に、口の中、手足などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くならず、ほとんどは数日中に治ります。しかし、まれに髄膜炎や脳炎など中枢神経系の合併症などが起こるため、注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症が流行してから、手足口病の流行は落ち着いていましたが、今年は6月頃から増加傾向にあります(図)。

手足口病には有効なワクチンはありません。予防には、手洗いを流水と石けんで十分に行い、タオルの共有は避けましょう。

手足口病 (五類感染症 定点把握)



青森県における手足口病定点当たり患者報告数推移 (2019年第1週~2022年第30週)

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [手足口病とは\(国立感染症研究所HP\)](#)

国立感染症研究所 手足口病とは 🔍



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：青森市1人 (2022年計：93人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：弘前1人 (2022年計：8人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）：弘前1人 (2022年計：2人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022年第27週～第30週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人		梅毒1人	
28	レジオネラ症2人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
29	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人					
30		腸管出血性大腸菌感染症1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人				

Ⅵ 結核(二類感染症)（2022年第27週～第30週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27					1	
28		2		1		
29	2			1		
30	1					

- ・第28週に五所川原保健所管内で結核1人の届出がありましたので、追加しました。
- ・第29週に五所川原保健所管内で結核1人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第29週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病
累積報告数	8096	1	13	1275	10	5	245	46	16	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	7	75	4	95	20	157	1	1	11	3

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	1	998	3	285	115	905	13	164	6	96

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	415	495	20	98	4	693	183	6385	82	48

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	85	284	4	2	5

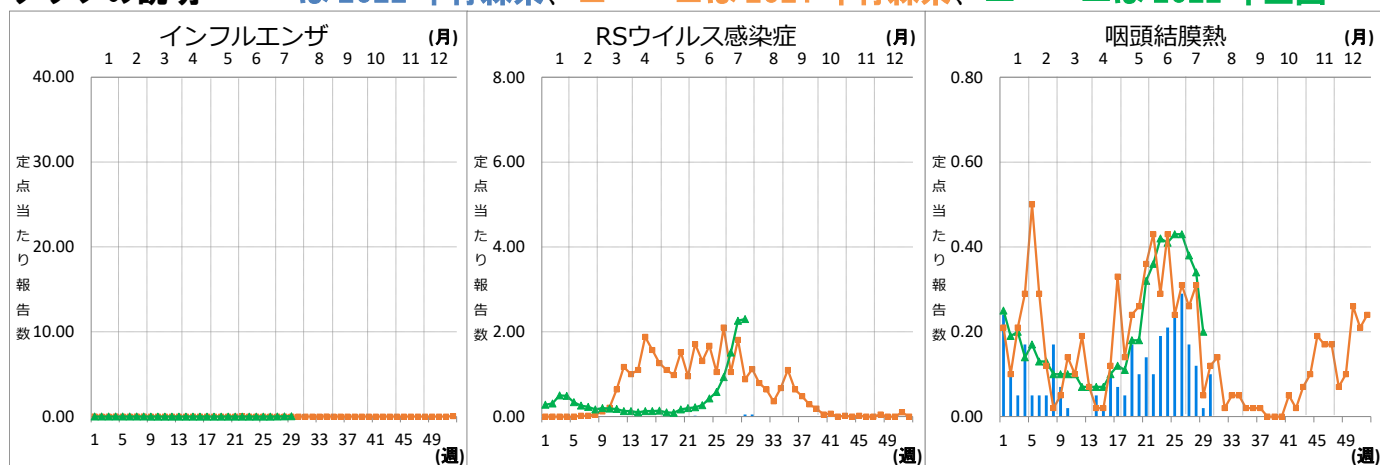
青森県（2022年第1週～第30週までの累計）

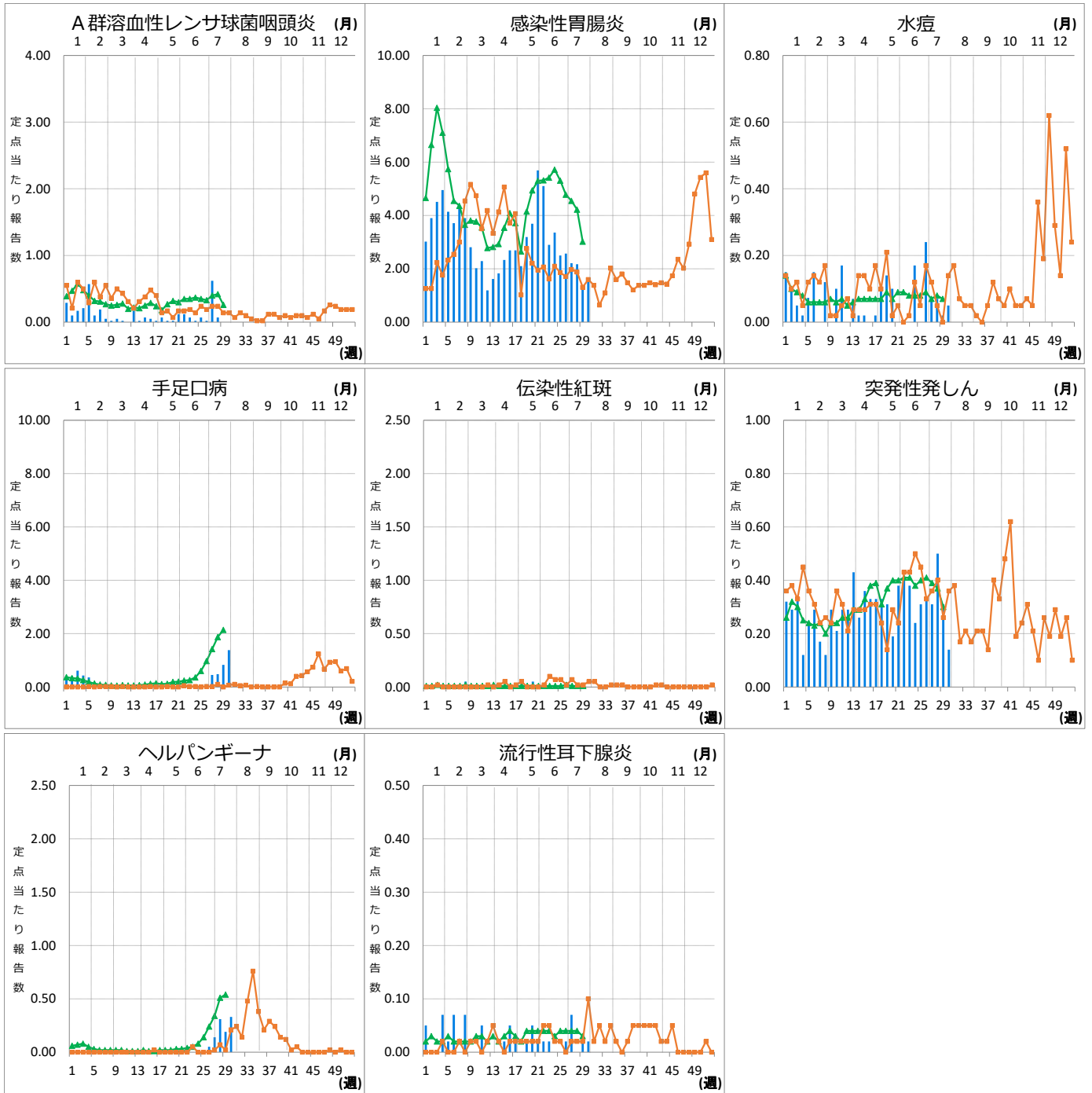
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	93	8	1	6	3	1	16	2	11	1

分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	百日咳
累積報告数	4	1	12	2

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第30週、ただし全国は前週）

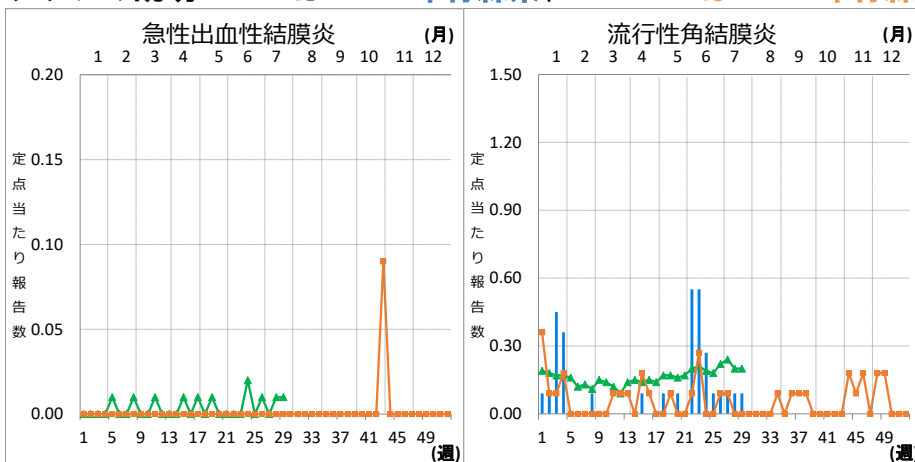
グラフの説明 ← 〇は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





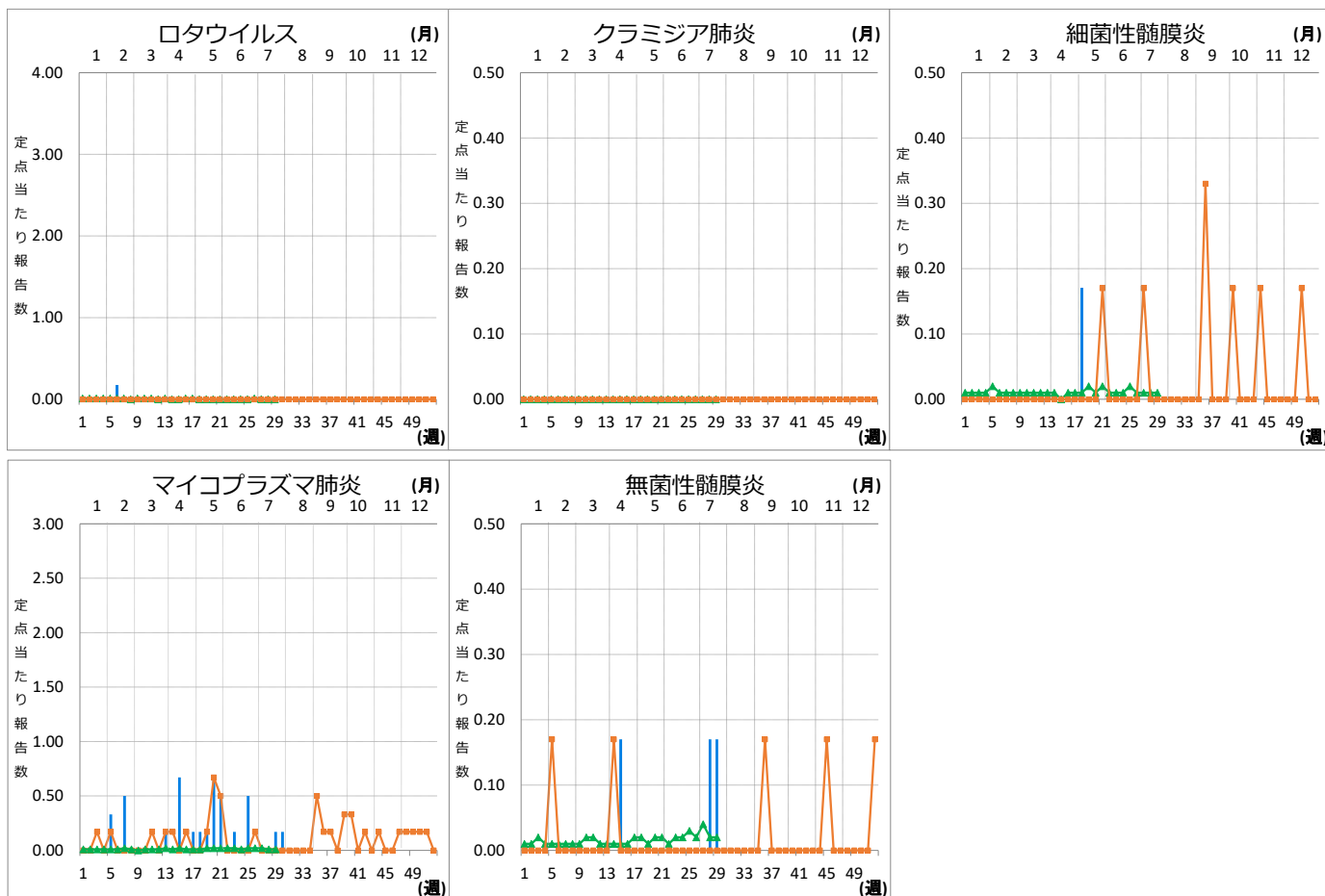
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第30週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ■は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2022年第30週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2022年第30週

報告はありませんでした。

2022年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)										計 (施設別)	
		1-4週	5-8週	9-13週	14週-17週	18週-21週	22週-26週	27週	28週	29週	30週		
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	6	2	2	0	1	2	0	0	0	0	13	
	発症者数	157	29	37	0	16	29	0	0	0	0	268	
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	6	2	2	0	1	2	0	0	0	0	13	
	発症者数	157	29	37	0	16	29	0	0	0	0	268	